

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公表番号】特表2002-531010(P2002-531010A)

【公表日】平成14年9月17日(2002.9.17)

【出願番号】特願2000-584658(P2000-584658)

【国際特許分類】

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 04 L 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 J 11/00 Z

H 04 L 1/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月22日(2006.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】マルチキャリア変調を用いるデジタル通信において、前方エラー訂正コーディング(F ECC)記号エラーを低減する方法であって、

複数のF ECC記号を提供することであって、各F ECC記号は、複数のビットを含むことと、

該複数のビットを変調するための複数のサブチャネルを提供することと、

該複数のサブチャネルを再オーダリングすることにより、1つよりも多くのF ECC記号に割り当てられている1つのサブチャネルから複数のビットによって引き起こされるF ECC記号エラーを低減することと

を包含する、方法。

【請求項2】マルチキャリア変調を用いるデジタル通信において、前方エラー訂正コーディング(F ECC)記号エラーを低減するシステムであって、

複数のF ECC記号を提供する手段であって、各F ECC記号は、複数のビットを含む手段と、

該複数のビットを変調するための複数のサブチャネルを提供する手段と、

該複数のサブチャネルを再オーダリングすることにより、1つよりも多くのF ECC記号に割り当てられている1つのサブチャネルから複数のビットによって引き起こされるF ECC記号エラーを低減する手段と

を備える、システム。

【請求項3】マルチキャリア変調を用いるデジタル通信における、前方エラー訂正コーディング(F ECC)記号エラー低減システムであって、

複数のF ECC記号であって、各F ECC記号は、複数のビットを含む、複数のF EC C記号と、

該複数のビットを変調するための複数のサブチャネルと、

該複数のサブチャネルを再オーダリングすることにより、1つよりも多くのF ECC記号に割り当てられている1つのサブチャネルから複数のビットによって引き起こされるF ECC記号エラーを低減するように構成されているトランシーバと

を備える、前方エラー訂正コーディング(F ECC)記号エラー低減システム。